

(株)玉津柑橘倶楽部

数十年先もこの産地を残したい

吉田町玉津地区の若手農家10人が集まり「(株)玉津柑橘倶楽部」を設立しました。かんきつ農家の高齢化による耕作放棄地の対策として、若手農家で園地の管理を請け負い園地を守っていけないかと数年前から構想していたそうです。それが、今回の災害により、被害を受けた園地を手放す人が増えてはいけないと動きを加速させ株式会社の設立に踏み切りました。

当面の仕事は、全国から支援を募ったクラウドファンディングの返礼品であるみかんジュースの発送作業です。事務員を雇い、ときには収穫の合間

を縫って若手農家自らが1つひとつラベルを貼り箱詰め作業を行っています。また、今年の収穫が落ち着いた後には、専門業者だけでは間に合わないモノレールの復旧作業などの力仕事を請け負い、来年の収穫に向けて地区全体の体制を整えていきたいと意気込んでいます。

代表を務める原田さんは、「将来的には、高齢農家らの収穫作業の補助や、商品開発・雇用創出など産地の発展に向けた取り組みを展開し、数十年先の玉津地区のかんきつ産地を守っていきたい」と話してくれました。



有料広告